

参加チーム及び競技役員 各位

第34回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

実行委員会

新型コロナウイルス感染症における予防対策について

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン＜プール競技編＞】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに則り、以下の運用を行う予定です。具体的な運用については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

- 競技会初日から遡って、14日間の体調管理チェックシートを提出すること（専用アプリケーション「テレサ」の使用を原則とする。使用できない場合は紙媒体での提出を認める）。
- 競技会当日の体調チェックシートを提出すること（専用アプリケーション「テレサ」の使用、もしくは紙媒体）。
- 無観客での実施とするため、競技会会場への入場は関係者（当日の出場競技者、出場チームの引率者3人まで、コンディショニングトレーナー1人まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。また、施設入口において入場者のチェックを実施する。
- 競技会場内には、体調チェックをクリアした者のみ入場を認める。この為、受付時に印（リストバンド、等）を配布する予定である。
- 施設入場時、必ず手指消毒と検温チェックを行うこと。一旦施設外に出た場合は、再入場時に改めて手指消毒と検温チェックを行うこと。
- 施設入場時、特に朝の混雑する時刻帯においては、「分散入場」を呼びかける、又は入場する順番を実行委員会にてチームごとに指定する場合がある。
- 施設のあらゆるところに手指消毒剤を設置する。
 - 施設出入り口、観客席及び通路、スタッフ控え室及び通路、などに適宜配置する。
- 観客席の利用は以下を守ること。
 - 密集・密接とならないように利用する。
 - 大きな声での応援、大きな音の出る鳴り物の使用は禁止とする。
 - 応援は拍手のみとする。
- 更衣室の利用は以下を守ること。
 - ロッカーは使用禁止とする。
 - マスクを着用し、1人ひとりが距離を置いて、また大きな声での会話はせずに更衣をすること。

- ウォーミングアップについて。
 - メインプール開放時は、各チームの利用時間帯を設ける場合がある（予定）。
 - 飛び込み練習等での順番待ちで並ぶ場合は、前後の感覚を最低 1m は空けること。
 - 飛び込みプールでは種目・器材ごとにレーン分けを行い、その中でなるべく空いているレーンを利用すること。
- 招集について。
 - 既存の招集所は使用せず、プールサイドにて招集を行う（予定）。
 - レース直前までマスクを着用し、自身のレース直前（各レーンに入った時）にマスクを外し、外したマスクは袋や衣類ポケット等に収納すること。
- 公式掲示板は設置せず、Web 上に掲載する。
- 代表者会議は競技会の前日夜に、オンライン会議方式にて実施する（予定）。
- 式典（開会式・表彰式・閉会式）は原則として実施しない。